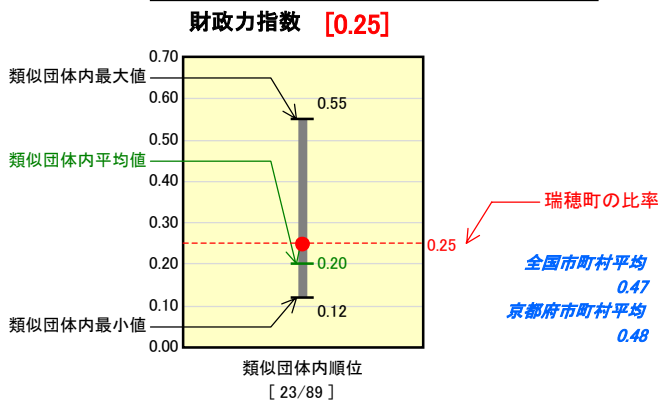


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

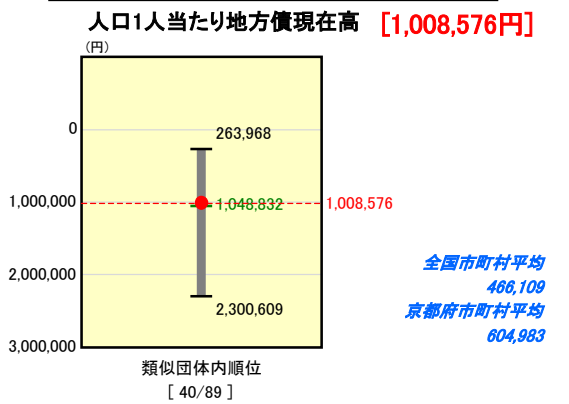
京都府 瑞穂町

人口	5,221人(H17.3.31現在)
面積	109.73 km ²
歳入総額	4,443,452千円
歳出総額	4,309,167千円
実質収支	33,893千円

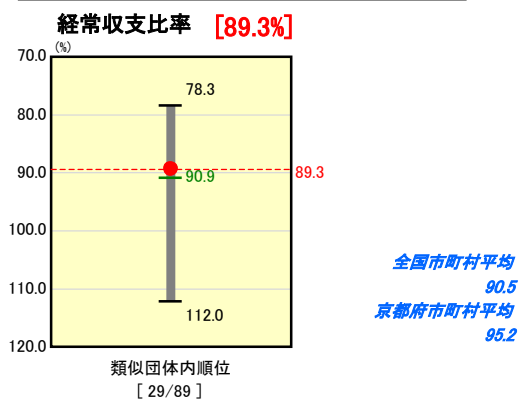
財政力



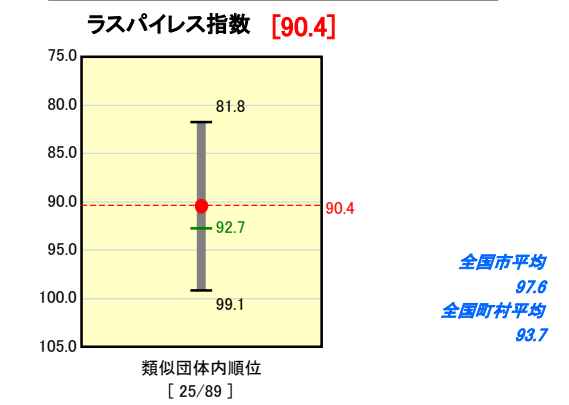
将来負担の健全度



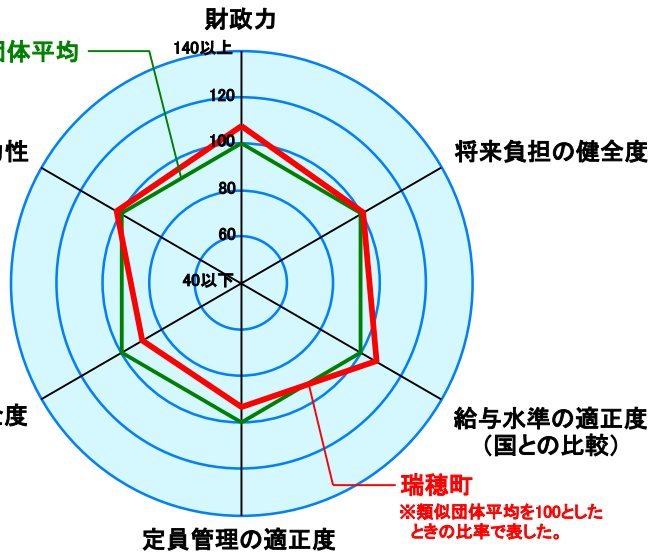
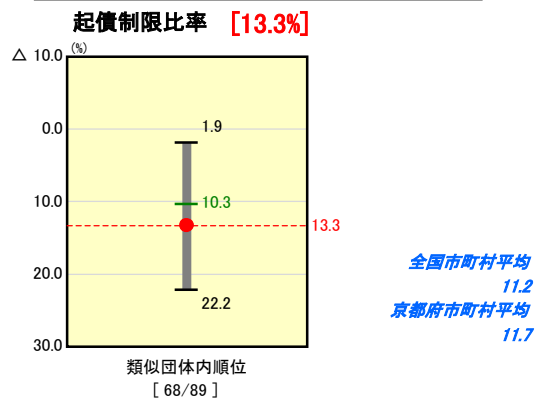
財政構造の弾力性



給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】
類似団体平均を上回っているが、人口の減少と長引く景気低迷により個人・法人関係の税収が減少し、財政は厳しい状況である。平成16年度策定の「行政改革大綱【改定版】」に挙げている徴税率の向上(3年間で約1%の向上)や滞納徴収体制の強化とともに、適正な課税や納税意識の高揚を図り、財政基盤の強化に努める。

【経常収支比率】
扶助費及び公債費の増加により、比率は年々悪化している。平成16年度に策定した「行政改革大綱【改定版】」に基づく事務事業の総評価・見直しと、健全で効果的・効率的な行政運営により、経常経費の削減に努める。

【起債制限比率】
今年度は、平成13年度に実施した農村多元情報施設(CATV)整備工事に伴う地方債の償還がピークを迎え、前年度に比べ2.5%上昇した。大型の社会資本整備はほぼ完了であり、比率は減少に転じるものと見込まれる。今後は起債に大きく頼ることのない、健全な財政運営に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】
後世への負担を少しでも軽減するよう、繰上償還、低利率への借り換え及び新規発行債の抑制を行い、財政の健全化に努める。

【ラスパイレズ指数】
給与の適正化により、類似団体平均を下回っている。

【人口1,000人当たり職員数】
かねてより福祉の充実を目指してきた当町は、福祉部門の職員数が突出している。福祉施策の充実を図りつつ、今後定員の適正化に努める。

定員管理の適正度

